

売上は1.2%増収の7,899百万円で着地するものの、営業利益以下の利益は大幅減益

単位:百万円	平成24年8月期	平成25年8月期	前期比
売上高	7,806	7,899	93
売上総利益	4,715	4,733	18
営業利益	266	130	▲136
経常利益	220	105	▲115
純利益	79	10	▲69

■売上は、近年注力してきた百貨店部門が堅調に推移する一方、SC部門が伸び悩んだ結果、全体としては微増の7,899百万円で着地

■売上総利益は、原材料価格の高騰が利益圧迫要因となった一方、販売価格の改定やベトナム子会社の活用による原価率低減により、前期比微増の4,733百万円を計上

■営業利益は、主力商品として育成中のWish Upon A Star等への積極的な広告宣伝活動や成長戦略を支える人材補強への投資などによる販売管理費増により大幅減益

■平成26年8月期は、経営課題が明確化しているなかで、平成25年8月期の経営戦略を企図して引き継ぎ、同戦略を確実に実行し、積み残しをこなしていくことに注力、増収・増益を予想

1. 平成25年8月期連結業績

売上高及び売上総利益は前期比微増も、
先行投資を中心とした費用増により、営業利益は大幅に減少

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	平成24年 8月期	売上 構成比	平成25年 8月期	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	7,806	100.0%	7,899	100.0%	1.2%	93
売上総利益	4,715	60.4%	4,733	59.9%	0.4%	18
販売費及び 一般管理費	4,449	57.0%	4,603	58.3%	3.5%	154
営業利益	266	3.4%	130	1.6%	△51.1%	△136
経常利益	220	2.8%	105	1.3%	△52.3%	△115
純利益	79	1.0%	10	0.1%	△87.3%	△69

百貨店店舗への傾斜配分により、都心
基幹店での増床実現も、SC店舗の低
迷により売上は微増。

原材料価格の高騰もベトナム子会社を
中心とした生産機能の効率化で売上増
利益は前期比増水準を確保。

海外展開の拠点となる台湾子会社の業
績改善が進んだものの、広告宣伝費等
の増加が響き営業利益は減少。

2. 次期(平成26年8月期)の見通し

SADAMATSU CO., LTD.

成長戦略を柱とした重点施策を継続する一方、
増収・増益を確実に達成するための課題克服にも注力

<連結業績予想>

(単位:百万円)

	平成25年 8月期	売上 構成比	平成26年 8月期	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	7,899	100.0%	8,150	100.0%	3.2%	251
営業利益	130	1.6%	170	2.1%	30.2%	40
経常利益	105	1.3%	140	1.7%	32.3%	35
純利益	10	0.1%	25	0.3%	148.1%	15

<次期(平成26年8月期)の施策>

・販売力の強化

➢販売プロセスの深化とCRMの強化を推進する。

・ブランド力の向上

➢精神的価値の訴求とブランド認知度向上を目指す。

・SPA体制の構築

➢「開発・製造・販売」三位一体の強化を図る。

・経営基盤の強化

➢経営資源の最適配分による総合力の強化を図る。